

# ひらつかん

HIRATSUKA CITY MUSEUM '85 11月号

## 見えた!! ハレー彗星



写真 10月16日1時40分～51分 表富士5合目にて撮影

写真ではすでに検出されていたハレー彗星ですが、とうとう眼視でも確認できる明るさになりました。10月16日0時すぎの観測では、彗星はオリオン座の北にあって、直径2°くらいの淡い光の広がり(コマ)をもち、中心には屹立するような恒星状の輝きがありました。光度は1.0～1.1等で、予報値どおり又はやや暗めといったところです。これは口径20cmの反射望遠鏡を使い、富士山で見たものですが、19日の晩に市内土屋

でも見ました。しかしここでは市街光の影響もあり、コマは直視すると見えないような暗さでした。同夜は天体観察会の日で、メンバーたちにも見てもらいましたが、「わからない」「見えない」という人が多かったようです。世間では、今月中には双眼鏡で見えると言いますが、観測地によって大きく条件は異なってくることを考えに入れる必要があるでしょう。

# 来た！ハレー彗星

## ハレー彗星の接近

11月はいよいよ第1回目のハレー彗星と地球との接近が起ります。

ハレー彗星は今、1秒間に約25km、1日で216万km（地球と月の距離の約5.7倍）も太陽に向かって動いています。

地球に一番近づくのは27日。ハレー彗星と地球との距離は約9,300万kmです。接近といってもずいぶん離れてます。

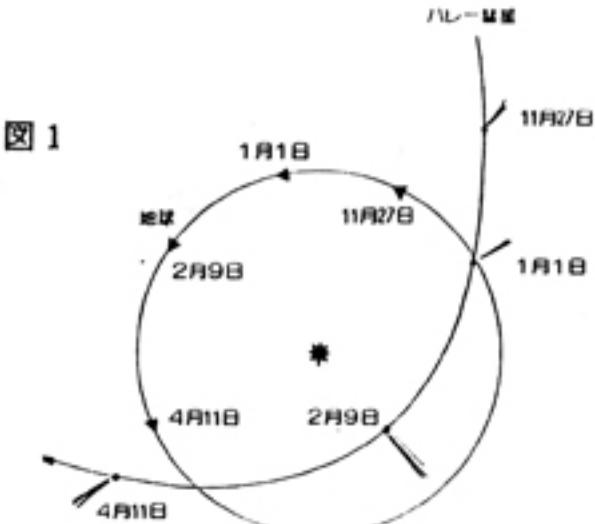
それでは、第1回目の接近前後の地球とハレー彗星の位置関係を見てみましょう。

図1は、地球の軌道（きどう）面（黄道面ともいう）上にハレー彗星の軌道を重ねたものです。地球の軌道とハレー彗星の軌道が交わっていますが、実際には遠く離れてます。

ハレー彗星は右まわりで太陽に近づいて来ます。地球はほぼ円に近い軌道を左まわりでまわっています。そのため、お互いのスピードが重なり、ものすごい速さですれ違うことになります。

11月27日前後を見ると、18日に、太陽、地球、ハレー彗星と一直線（衝という）に並びます。地球から見ると太陽の反対側になりますから18日前後はひと晩中見えることがわかります。

地球は11月中にハレー彗星の軌道の下を通りぬけます。ハレー彗星はまだ火星の軌道の外側にいるため、尾はそれほど長く伸びていませんが、11月初めと下旬とでは尾の向きが地球から見て西側に伸びていたものが東側に伸びます。



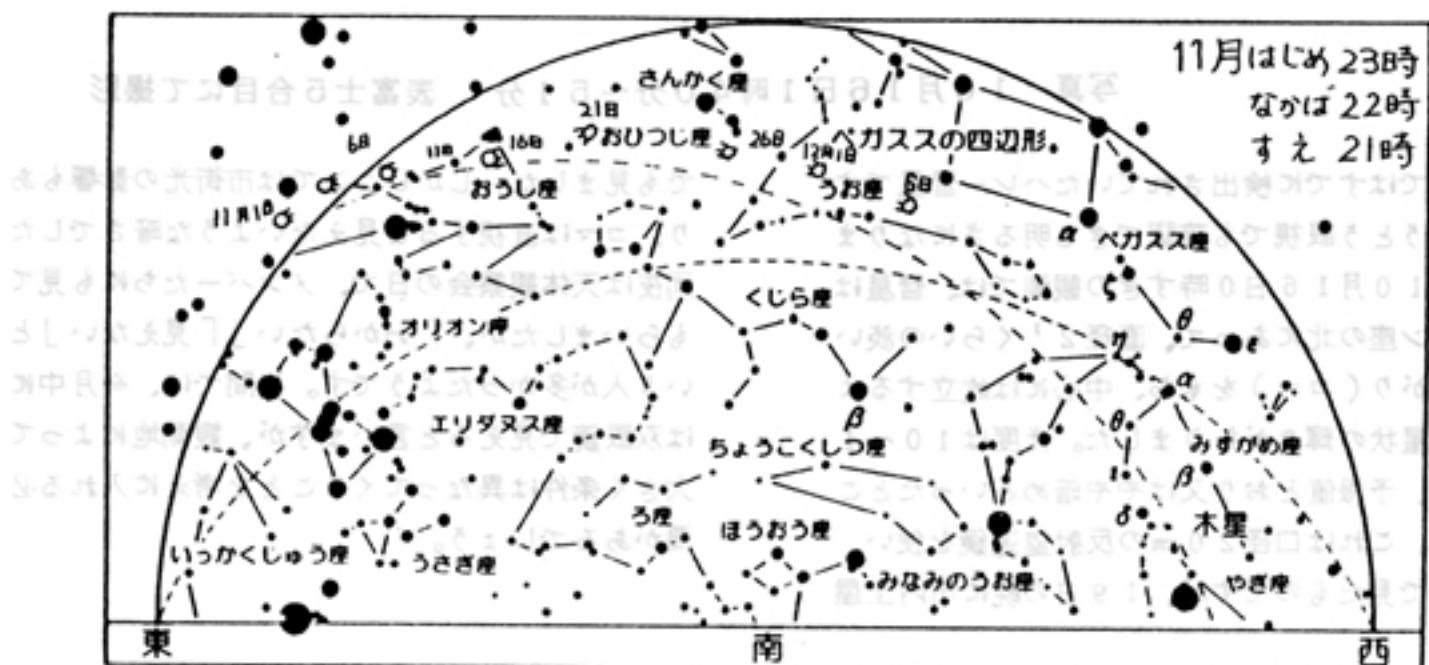
27日以後、地球とハレー彗星はどんどん離れてしまいますが、ハレー彗星は太陽に近づくためだんだん明るくなり、尾も長く伸びてゆきます。そのため、離れてゆくにもかかわらず、地球から見ても明るさを増してゆきます。

それでは、私たちにはハレー彗星がどこにどのように見えるでしょう。

図2は、11月中旬の夜10時ごろの星座です。上旬は夜11時、下旬は9時ごろと同じです。

ハレー彗星は星座の中を東から西に移ってゆきます。ハレー彗星の明るさは、月初めは8等、月末が6等と予想されています。この明るさでは目だけでは見ることは不可能です。双眼鏡か望遠鏡が必要です。しかし、望遠鏡があってもハレー彗星がどこにいるのかがわからなければ向けることができません。見る時にハレー彗星がいる星座やそのまわりの星の並びをたよりに入れられるよう、星座や星の並びを実際に確かめておく必要があります。

図3にハレー彗星の位置する星座を載せますので、図2と合わせて位置を確認してください。



△図2

図3 ▽

「ハレー彗星観測ガイド」

（誠文堂新光社）の図に加筆

# ★☆行事案内☆★

## ●体験学習「おかざり作り」

一丈かざり、輪かざり、ゴボウジメなど、お正月のおかざりを作ります。

日時 12月15日(日) 10時~15時

場所 博物館科学教室

申込み 12月5日(必着)までに、往復はがきで博物館へ。多数の場合は抽選により40人まで。

## ●自然観察会(生物)

動植物の冬越しを観察します。

日時 12月8日(日) 9時~15時  
(雨天中止)

場所 大磯町鷺取山付近

申込み 11月25日までに往復はがきで博物館へ。多数の場合は抽選で30人まで。



## 冬期特別展『1986ハレー彗星展』

76年ぶりに回帰したハレー彗星について、その構造や過去の歴史、今回の接近のようすと探査計画、そして見るための手引きなどを展示します。

会期 12月1日~1月19日

場所 博物館特別展示室

入場無料

(関連行事)

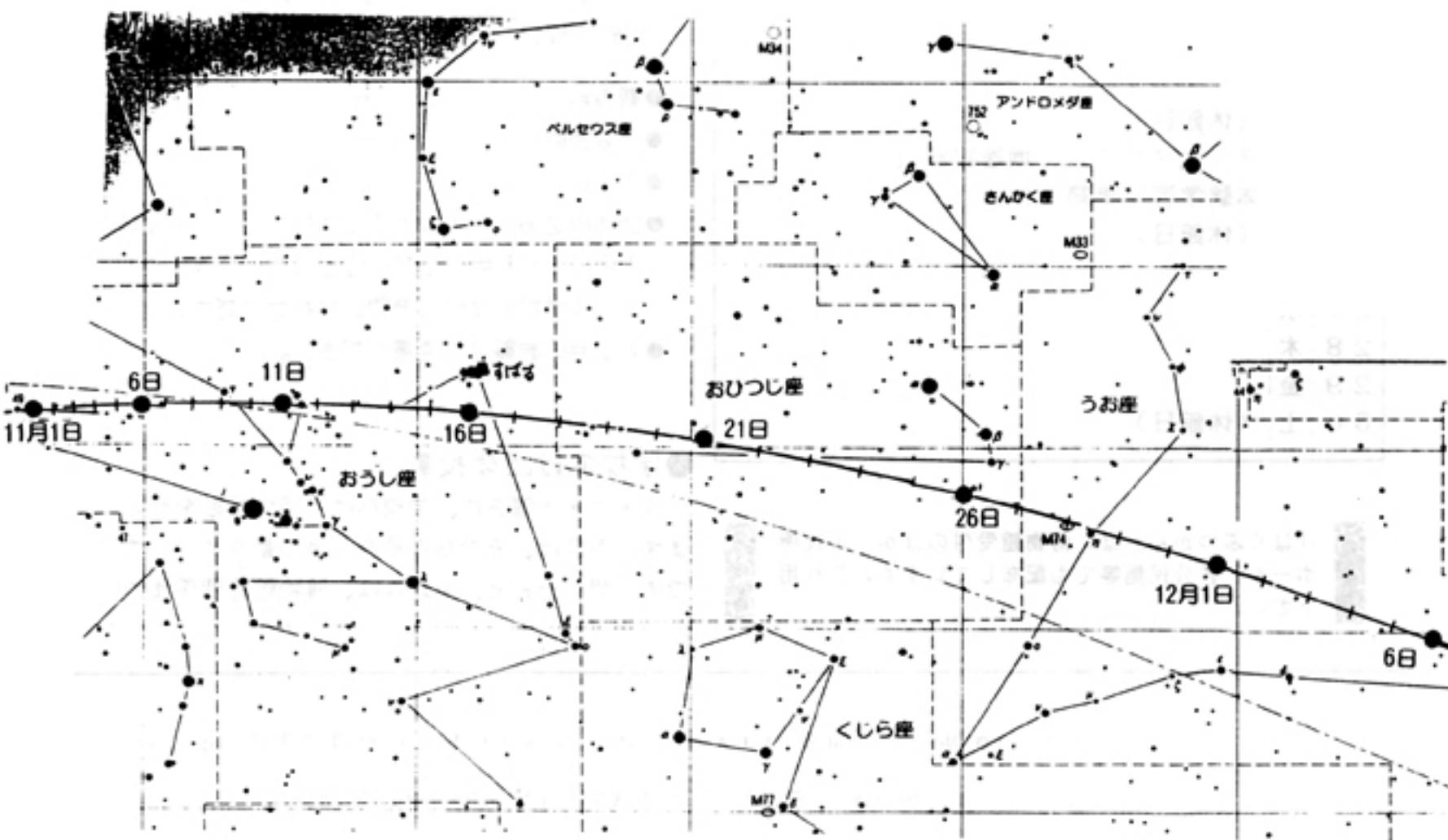
### ●ハレー彗星観望会

大彗星と呼ばれるハレー彗星ですが、今回の回帰では地球との位置関係が悪く、世間で騒ぐほどには見えません。その微かな姿に望遠鏡を向けてみます。

日時 12月 7日(土) 18時~20時  
13日(金) 18時~20時  
(くもりや雨の場合は中止)

場所 博物館(屋上)

参加自由。



# □□ 11月の行事□□

1 金	
2 土	プラネタリウム 古文書講読会 土曜観察会
3 日	(休館日)
4 月	(休館日)
5 火	緑の国勢調査(まとめ)
6 水	
7 木	デッサン教室
8 金	デッサン教室
9 土	プラネタリウム 石仏を調べる会
10 日	プラネタリウム 体験学習「紙すき」 自然観察会 緑の国勢調査(まとめ)
11 月	(休館日)
12 火	
13 水	
14 木	
15 金	
16 土	プラネタリウム 古文書講読会 土曜観察会
17 日	プラネタリウム
18 月	(休館日)
19 火	
20 水	
21 木	
22 金	
23 土	(休館日)
24 日	プラネタリウム 地層観察会 体験学習「巣箱を作ろう」
25 月	(休館日)
26 火	
27 水	
28 木	
29 金	
30 土	(休館日)

「はくぶつかん」は、博物館受付のほか、市役所ホール、各公民館等でも配布しています。ご利用下さい。

## ●寄贈品コーナーの展示

### 「サマーセミナー展」

夏休みに土屋の七国荘で行ったサマーセミナーの紹介をします。グループで研究した結果の発表や、生活の楽しい写真を展示します。

## プラネタリウム

### ●11・12月の投影テーマ

#### 「ハレー彗星接近！」

76年ぶりに接近したハレー彗星をテーマに、この彗星の過去の出現や、今回はいつごろ見やすいかについて、お話しします。

投影日	券発売開始時刻	回	投影開始時刻
土曜日	朝9時より	第1回	14:00
	第1回、第2回の券を同時発売する	第2回	15:30
日曜日	朝9時より	第1回	11:00
	第1回、第2回の券を同時発売する	第2回	14:00
火曜日		学校専用	
水曜・木曜日		学校・団体専用	

●観覧料 1人 100円

●所要時間 1回 45分

●定員 128人

●団体申込み 20人以上で団体扱いとなり、団体専用日にご利用いただくことになります。くわしくは博物館受付にお問い合わせください。

●乳幼児の観覧はご遠慮ください。

### ●学校向け団体投影

火・水・木曜日に、学校向けの団体投影を行います。内容は、その日の星座と星の動きについてです。問い合わせ、申込みは、博物館管理係まで。